

外科系 臨床病理コース

豊富な症例から外科病理の基本を学ぶ！！

当科では全国的にも珍しい臓器担当制をとっております。それぞれの病理医が特定の臓器（複数）を専門にして診断を行い、担当臓器の臨床医とカンファレンス等を通じて密接な関係を築くことで臨床的側面からの知識を蓄え、患者さんの治療に反映する病理診断を進めています。こういった環境の中、生検・手術症例を中心に外科病理学的な腫瘍診断の考え方を研修します。ローテーション研修では専攻する分野の症例について臨床所見・画像所見とマクロ・ミクロ所見の詳細な対比を行いながら学び、症例の病態を把握しながら病理診断学の研修ができることも特徴です。

スタッフ

◆ 尾島 英知	・日本病理学会（専門医、指導医、学術評議員） ・日本癌学会（評議員） ・日本肝癌研究会（評議員） ・日本肝臓学会 ・日本胆道学会（評議員、認定医） ・日本臨床細胞学会 ・日本画像医学会 ・肝血流動態機能イメージ研究会（幹事） ・肝癌症例研究会（幹事）	◆ 阿部 信	・日本病理学会（専門医、学術評議員） ・日本臨床細胞学会 ・日本癌学会
◆ 三浦 瑛祐	・日本病理学会（専門医） ・日本臨床細胞学会（細胞診専門医） ・日本癌学会 ・International Association for the Study of Lung Cancer	◆ 藤倉 睦夫	・日本病理学会（専門医） ・日本臨床細胞学会
◆ 小坂 樹	・日本病理学会 ・日本臨床細胞学会	◆ 平林かおる	・日本病理学会（専門医・指導医） ・日本臨床細胞学会 （細胞診専門医・指導医）

研修目標

- ①腫瘍の肉眼所見を把握し画像・内視鏡所見との対比ができる
- ②各臓器の癌取り扱い規約に則った検索を行い、病理組織学的な評価ができる
- ③各診療科とのカンファレンスに参加し、病理所見のプレゼンテーションができる
- ④細胞診断の意義と各種瘍の典型的細胞像を理解し、細胞所見を説明できる
- ⑤病理組織診断に必要な免疫組織化学や分子生物学的検索法を理解する
- ⑥剖検症例の病理学的総括を行いCPCでのプレゼンテーションができる
- ⑦コンパニオン診断やがんゲノムプロファイリング検査を理解し、実践できる

症例数等（2024年度実績）

画像診断件数	
生検・手術症例	
細胞診症例	
剖検症例	臨床・病理カンファレンス 年間約250回

週間スケジュール

	朝	午前	午後	夕方以降
月	食道・頭頸部カンファ 病理朝会	生検カンファ	手術症例切り出し	
火	乳腺カンファ	生検カンファ	手術症例切り出し	消化器合同カンファ
水	胃カンファ	生検カンファ	手術症例切り出し	チェストカンファ（肺・縦隔）
木	呼吸器病理抄読会 婦人科カンファ	生検カンファ	手術症例切り出し	悪性リンパ腫カンファ 内視鏡病理カンファ
金	病理勉強会	生検カンファ	手術症例切り出し	

（術中迅速組織診断：迅速細胞診断・剖検：随時）

（骨軟部腫瘍カンファ：不定期）